

第 19 回 旧 RD 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成 29 年 3 月 16 日（木）19：00～20：15

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑

1. 前回の開催結果の確認について

◇質問無し。

2. 平成 28 年度第 3 回モニタリング調査結果について

◇モニタリング結果が最近低下傾向とか、安定しているとのことですが、平成 23 年度から採水方法が変更になっており、もし前の方法で採取すればどのようなと予想されるか。

→前の方法で採水すると、恐らく SS 分（浮遊物質）が残っているので、それに由来する項目は濃度が上がると思いますと回答しました。

◇データを見ると、大分、基準以下となっている。今後、ゴミを取り除けばもっとデータが良くなると考えていいのか。

→ゴミを取り除く工事を進めていくことで、今後良くなると考えていますと回答しました。

3. 二次対策工事等の進捗状況について

◇B 工区において、浸出水の pH は測っているのか。また、高アルカリ物質は完全には除去できていないと思うので、水があれば pH と電気伝導度を調べていただきたい。

→浸出水自体は、今は測定していないが、B 工区を掘削し始めたときに、少し金気の赤い水が出てきたので、pH を測ったところ、pH8 までぐらいの弱アルカリ性で、強アルカリではなかった。変なものや、色のついた水が出てくれば確認しますと回答しました。

◇「廃石綿の混入が疑われるモルタル固結物」とは何か。どこから出たものか、どう処理するのか。

→廃石綿の混入が疑われるものは、B 工区の一部から出てきました。廃石綿廃棄用袋に入っていたが、中身はモルタルで固めたもので、これが廃石綿かどうかははっきり分からないため「廃石綿の混入が疑われる」と書きました。回収し、フレコン袋に入れて、場外に処分する予定をしていますと回答しました。

◇B 工区の国道バイパスの側の辺で、過去に青い塗料の固まったものが一斗缶で 1 個埋められていた。それはまた埋め戻された。そういうものは見つからなかったか。

→現在、B 工区では一斗缶は 1 個だけ見つかっている。中身は廃塗料、ただ、色は青ではなくて、黒っぽいものです。それは、場外処分すると回答しました。

4. 工事の施工方法について

◇質問無し。

5. その他

来年度以降の予算等について

◇鋼材は有害物ではありませんが、RDの場合、許可品目の中に金属は入っていません。だから、本来は取り除くべきではないか。

→この事業では、あくまで生活環境に支障が生じるものを取り除くことを目的としており、許可品目であるかどうかにかかわらず鋼材は除去の対象になっていません。ただし、廃棄物土を掘削し、選別・除去した鋼材は処分していますと回答しました。

◇有害物掘削除去区画の矢板施工について、費用が増えるというのほどのくらいなのか。

→今、国と相談中で、費用も流動的であり、まだ幾らと言えるような段階ではありませんが、それが確定して方針が決まった段階で、報告したいと回答しました。